

中央カレンダー

2025 12							2026 1						
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30	31	

●イベント・展示会

12/3~12/14 つながるアート展 2025
 12/4 満月の絵本セラピー
 ~絵本で大人のクリスマス~
 12/6 聴導犬に会いに行こう!
 12/10 バリアフリー映画会
 12/14 つるがしま郷土かるた大会 主催: 鶴ヶ島市子ども会育成会連絡協議会

12/17 ヒップファミリークラブ
 12/27 子ども図書館座シネマ

1/15 図書館座シネマ

切り絵/渡辺 洋子さん→



分室カレンダー

分室	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
東	休	休	○	休	○	○	○
西	休	休	○	○	休	○	○
南	休	休	○	休	○	○	○
北	休	○	休	休	○	○	○
富士見	休	○	休	○	休	○	○
大橋	休	○	休	○	休	○	○

◆中央図書館

〒350-2223
 鶴ヶ島市高倉 1247-1
 ☎049-271-3001
 ①火~日曜日
 午前9時~午後7時
 ※月曜日が祝日にあたる場合は開館

◆若葉駅前カウンター

〒350-2201
 若葉ウォーク1階
 若葉駅前出張所内
 ①月~日曜日
 午前9時~午後9時

図書館だより

12・1

No.255



鶴ヶ島市立図書館

Tsurugashima Public Library

12・1月の臨時休館予定

月	火	水	木	金	土	日
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9 富士見 休館	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 駅前カウ ンター 休館	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	1/2	1/3	1/4
東・西・南・北・大橋・富士見 休館						
中央・駅前カウンター 休館						

※12/9 施設点検のため

※12/22 図書館電気設備点検のため

※12/29-1/3

※12/28-1/4

年末年始のため

年末年始のため

◆年末年始休館のブックポストのご案内◆

年末年始の休館期間中は
中央・西分室のみの受付となります。
 その他の分館では返却受付をしておりません。
 ご了承ください。

各館定休日

中央	月	東	月・火・木
西	月・火・金	南	月・火・木
北	月・水・木	富士見	月・水・金
大橋	月・水・金	駅前	定休日なし

鶴ヶ島市立図書館公式 SNS

X: @t_roncyan

Facebook: @tsurugashimalibrary

YouTube 鶴ヶ島市立図書館

◆図書館ホームページ

<https://www.tsurugashima-lib.jp/>

※右のQRコードからもご利用いただけます。



▲ホームページ

2025年
10月25日

ご参加いただいた皆様

来場者総数
3563人



ありがとうございました！

2025年
10月26日

マーケット
総数
40店舗



新刊紹介

内容紹介文は T00Li より引用

一般

絶滅しそうな世界の文字

ティム・ブルックス／著 河出書房新社 2025. 10
黒輪 篤嗣／訳 請求記号：801.1 テ



夢の啓示で生まれた文字、奴隷貿易の暗号だった文字、民族独立象徴の文字…。世界中の消滅危機にある 83 の文字の歴史と現況を、現地調査に基づき描出。文字の成立にまつわる宗教や神話の情報も多数収録する。

児童

サンタクロースの子どもたち

ながしま ひろみ／著 岩崎書店 2025. 10
請求記号：913.6 ナガ

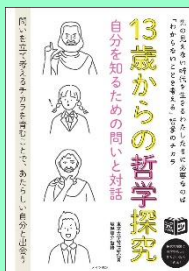


サンタクロース育成学校に入学した双子のホシとスイ。個性ゆたかな大人たちと出会い、たくさんの学びのなかで、「プレゼントを贈ること」の本当の意味を見つけていき…。夢の学校を舞台に描く、心にひびくファンタジー童話。

ティーンズ

13 歳からの哲学探究

堀越 耀介／監修 メイツ出版 2025. 10
請求記号：100 ホ



問いを立て考えるチカラを育むことで、あたらしい自分と出会う！ 哲学とは何か、なぜ哲学を学ぶのかを解説し、哲学的な問いを立てるコツを紹介。グループになって考える「哲学対話」という方法についても説明する。

鶴ヶ島風土記

鶴ヶ島風土記

九 鶴ヶ島の三角点

近代的な測量によって日本の正確な位置を求め、地図を整備することは、近代日本の重要な国家的プロジェクトの一つだった。明治5年に東京で初めて三角測量が実施されてから、測量の基準点として、三角点が日本全国に設置されていった。

三角測量では、2地点間の長さを正確に測った基線にもう1点を加えた三角形の内角を測ることとで、計算により三角形の大きさと形を求める。この方法により、基準点間の長さが約45kmの三角点網で全国を覆ったのが一等三角点網である。続いて三角点間の距離を8km(二等三角点網)、

4km(三等三角点網)と段階的に狭めて全国を細かな三角点網で覆い、地形図がつくられていった。三角測量では三角点同士を互いに観測する必要から、特に一等三角点では見通しの良い山頂に多いが、その他にも平野部や建物の屋上など様々な場所にある。その数は10万点を超える。

鶴ヶ島市内には、二等三角点「高倉」が一つ設置されている。明治33年に設置されたもので、花崗岩の標石に右書きで「二等」、その下に縦書きの旧字で「三角点」と彫られている。このほかに鶴ヶ島駅西口ロータリー内(川越市)に四等三角点「鶴ヶ島」、女子

栄養大学(坂戸市)に三等三角点「大塚野」がある。「大塚野」は現在の富士見地区の旧称で、陸軍坂戸飛行場の建設によって消滅した大字である。現在の三角点は大学一号館の屋上にあるが、元は昭和15年に同地に設置されており、陸軍飛行場の建設時に設置されたものと思われる。(文)

写真／市之瀬



標石上部の十字中心が三角点の緯度・経度を示す。標石の四囲は保護石で囲まれている。



四等三角点「鶴ヶ島」(昭和63年設置)

参考文献

『よくわかる測量』海津優 著 令和3年
基準点成果等閲覧サービス (<https://service.gsi.go.jp/kijunten/app/>)

つながる 2025 アート展

中央図書館 2階 展示室にて
障害のある方のアート作品を展示

期間：12月3日(水) ▶ 14日(日)

毎年恒例の『2025年つながるアート展』開催いたします。
今年も、子どもから大人まで楽しめる、感性豊かな作品が展示されています。どうぞお立ち寄りください。

昨年展示の様子



関連イベント①

『聴導犬に会いに行こう！』

12月6日(土) 13時00分～15時00分 定員30人

グッズ販売
ふれあいコーナーも
あるよ！



聴覚障害者の生活をサポートしている聴導犬についての講演会で
す。PR犬によるデモンストレーションを中心に、聴導犬のお仕事
や音を知らせてくれる仕組みをわかりやすくお伝えします。
☆当日は手話通訳とUDトークがあります。

関連イベント②

バリアフリー映画会 バリアフリー音声ガイド・字幕付き

NHK
ドラマ『しずかちゃんとパパ』1話・2話

入場
無料

12月10日(水) 13時00分～15時00分 定員30人

父子家庭で、ろう者である父の耳代わり口代わりを務めてきた娘
が、ふとしたきっかけで出会った男性と結婚するまでの親離れ子
離れの物語を温かく描くホームコメディ。2022年3月から放送さ
れたテレビドラマの1話、2話を上映します。

関連イベント申込：中央図書館へ直接・電話・FAXまたはホームページにて受付9時00分～定員に達するまで

図書館配架ボランティアとして活躍している方々を3つの質問と共に紹介します！

Q1. 図書館ボランティアに参加してみようと思ったきっかけはなんですか？

Q2. やっていて大変なこと、あるいは楽しいことなどはありますか？

Q3. 配架以外にボランティアとしてやってみたいことはありますか？

または、図書館の仕事で気になっていることはありますか？



A1. 子どもの頃から図書館が大好きでした。

A2. 楽しいことは利用者さんと本などの話をする事です。

A3. 本の場所を案内してあげたいです。検索機で調べて一緒に探したりしたいです。



A1. 何か自分でも地域に貢献できることがあればと思っていたので。

A2. 本が重くて腰が痛いこともありますが、好きな本に囲まれているのはとても幸せです。

A3. 本の装備・修理。



A1. 歳を取っても大切な事は、キョウヨウとキョウイクだと聞きました（今日用がある、今日行く所がある）。素晴らしい図書館に「所属」させて
いただいている事に館長さんを始め、職員の方々に感謝しています。

A2. 本が正しい場所にあることが図書館の基本だと思いますので、達成感
があります。歩くので健康に良いし、頭も使うので認知症予防にも良いと
感じています。

A3. 書籍に触れると人間の英知の凄さを感じます。配架すれば内容を理解
できるわけではありませんが、刺激にはなります。続けていきたいと思っ
ています。



A1. 子どもの頃から本が好きで印刷会社に勤務しました。

リタイア後、今までとは違う形で本に関わることがしてみたいと思
いました。

A2. 本の配架は思っていたより重労働ということです。1冊入れる
スペースを作るために何冊も移動しなければいけません。
色々な本があること利用者さんとの出会いが面白いです。

A3. 本の修理（不器用なので向いているか分かりませんが）